

函館市医療・介護連携推進協議会 多職種連携研修作業部会

第12回会議 会議録（要旨）

1 日 時

令和2年10月30日（金）19：00～20：00

2 場 所

函館市医師会病院5階講堂

3 出欠状況

メンバー：寺田部会長，水越副部会長，川村メンバー，阿部メンバー，益井メンバー
京谷メンバー，白川メンバー，齋藤メンバー，川口メンバー，渡部メンバー
部会運営担当：（函館市医療・介護連携支援センター）佐藤，近藤，鎌田
事務局：（函館市保健福祉部地域包括ケア推進課医療・介護連携担当）栗田

4 議 事

○報告事項

- (1) 令和2年度 多職種連携研修計画 実施報告
- (2) センターホームページ「コラム」の掲載について
- (3) 研修情報一元化と提供について

○協議事項

- (1) 第6回 函館市医療・介護連携多職種研修会について

5 会議の内容

栗田医療・介護連携担当

ただ今から，函館市医療・介護連携推進協議会の多職種連携研修作業部会の第12回会議を開催いたします。

前回の会議でも確認いたしておりますが，この会議は原則公開により行いますので，ご了承願います。

次に，書面開催となりました第11回の会議録ですが，4月に各メンバーの皆様にもメールにてご確認をさせていただきました。

事務局の方には，特に修正のご意見がございましたので，原案どおりで，第11回会議録を確定させていただき，市のホームページ上で公開させていただいております。

本日は，北海道看護協会 道南南支部の伊藤様と北海道柔道整復師会函館ブロック山本様が所用により欠席となっております。

それでは、本日の資料を確認させていただきます。

事前に

- ・会議次第1枚,
- ・資料1から10まで

全部で裏表の印刷含め合計12枚を送付しておりますが、本日お持ちでない方はいらっしゃいますか。

また、机上に座席表と出席者名簿、当日配布資料として、大規模研修会の役割分担表、新型コロナウイルス管理対策の記入用紙を配布させていただいております。

次に、幹事の交代がございましたので、ご紹介させていただきます。

医療・介護連携支援センターに5月1日付で人事異動があり、新しくセンターの相談員になりました近藤様です。

近藤様に、ご挨拶を頂きたいと存じます。近藤様、よろしく申し上げます。

近藤幹事

皆さん、こんばんは。今年の5月から当センターの方に配属になりました、近藤と申します。今までは急性期の病棟に勤めて、その後訪問看護ステーションも勤めた後に、こちらの方に今お世話になっている所でございます。今までの経験が活かして、かつ何か出来る事がないかと日々思いながら関わらせて頂いております。何事も色々と慣れない事がいっぱい皆様にご迷惑をおかけすること多々あるかと思いますが、宜しくお願い致します。

栗田医療・介護連携担当

近藤様、ありがとうございました。

なお、以前在籍しておりました長谷川様につきましては、センターの隣の部署であります地域連携室のクローバーに人事異動しておりますが、これまでのセンターでの実務経験を踏まえ、必要な際にはセンターをフォローできる体制としております。

本日の会議の議事の進行につきましては、皆様の特段のご配慮とご協力をお願いいたします。それでは寺田部会長、申し上げます。

寺田部会長

皆さんこんばんは。久しぶりの部会となりますので、よろしくお願い致します。では早速ですが、次第に従いまして議事を進めてまいります。

報告事項1)「令和2年度 多職種連携研修計画 実施報告」に関して、近藤幹事から説明願います。

近藤幹事

よろしくお願い致します。では、資料1、報告事項1)「令和2年度 多職種連携研修計画 実施報告」につきまして、ご報告いたします。資料3の【令和2年度 多職種連携研修実績および予定表】と合わせてご確認いただければと思います。当初の予定の多職種連携研修計画も参考にと添付しております。

- (1) 相互理解の促進

①医療関係者向け研修会（動画公開）ですが、今年度はテーマを「訪問看護師の機能と役割」とし、当部会のメンバーとしてもご協力いただいております、函館五稜郭病院 在宅療養支援室 訪問看護看護師主任 白川 直子様にご講師をお願いしております。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大予防の為、当センターのホームページで研修動画を公開する事になりました。フリーの公開にはせず、希望者のみにパスワードをお知らせして閲覧可能になるようにしておりました。公開期間ですが、資料には令和2年9月11日からとなっておりますが、9月8日に訂正をお願いいたします。公開期間は、9月8日から9月30日、閲覧人数236名、アンケート結果98件となっております。動画公開終了後のアンケートでは、「訪問看護については、知っているつもりでいたが、改めて理解が深まった。」「情報共有、多職種との連携の大切さを改めて感じました。」等のご意見があり、改めて他職種を理解する事で、自職種の業務を考える機会になったのではないかと感じております。

次に、②の介護関係者向け研修会ですが、テーマを「高齢者の身体的特徴（フレイル）と主治医に伝わりやすい報告の仕方」とし、恩村内科医院院長 恩村 宏樹 様に講師をお願いしております。医療関係者向け研修同様に、研修動画の公開となっております。公開期間は、令和2年8月11日から8月31日、閲覧人数1,189名、アンケート結果192件となっております。動画公開終了後のアンケートでは、「医師への連携は敷居が高く、どのようにどこまで報告すべきか悩む事が多かったのですが、今回の研修で伝えるべき要点が深まって、とても参考になった」、「報告の仕方ひとつで伝えられるかどうか、また状態・状況を理解していないと変化に気づくことができないと改めて考えた」、「サルコペニアやフレイルについて具体的な説明があり理解することができた。今後家庭訪問や健康教育等で活用していきたい」などのご意見があり、学びを深める事で今後の業務に活かす事ができる内容になったのではないかと考えております。

次に、新型コロナウイルスの影響により、昨年度末に開催中止になっていた分の介護関係者向け研修ですが、開催の希望があり、動画での開催を予定しております。テーマは「正しい病院のかかり方（医療介護連携編）」として、当部会のメンバーとしてもご協力いただいております、函館五稜郭病院 法人内・法人外連携推進担当課長 船山俊介様に講師をお願いしておりました。10月中での動画撮影予定でしたが、講師とのスケジュール調整の為、11月6日撮影の予定となっております。映像編集後、公開する予定でおります。③のオープンカンファレンスですが、新型コロナウイルスの影響にて、開催未定となっております。

続きまして、④意見交換会ですが、令和2年5月に、各関係者団体窓口一覧を作成し28団体長宛てに配信しております。当センターのホームページ上の「各関係団体の皆さまへ」に掲載もしております。

また、資料4の各関係団体窓口一覧の作成に関する規定について、一文追加の修正がございましたので、ご報告いたします。《掲載の条件》の所に「以下の条件すべて満たす事」との一文を追加しております。

（2）連携強化

①看取りについてですが、第6回函館市医療・介護連携多職種研修会にて、前年度に引き続き「看取り」をテーマに開催する予定でありましたが、新型コロナウイルスの影響により来年度での開催を検討する事となりました。

施設看取りへの支援ですが、老施協など各関係団体との共催にて、施設看取りの事例報告

会の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの影響により開催未定となっております。

在宅看取りへの支援ですが、看取りアンケートの集計結果をもとに、事業所訪問・在宅看取りの事例報告会の開催を検討していましたが、新型コロナウイルスの影響により開催未定となっております。

②入退院支援についてですが、退院支援分科会が主催の『はこだて入退院支援連携ガイド』を活用した研修会と、情報共有ツール作業部会主催の『入退院支援連携強化研修会』ですが、新型コロナウイルスの影響により開催未定となっております。

③急変時対応についてですが、急変時対応分科会実務者会議主催の「急変時対応研修会」ですが、昨年度の令和2年3月12日開催予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で、開催延期となっております。今年度中での開催を検討しておりますが、現段階では未定となっております。

(3) 多職種連携の専門性の向上

①函館市における多職種連携への理解の促進（出張講座の実施）ですが、令和2年9月15日 障害者生活支援センターぱすてるからの依頼にて、要約筆記登録員研修会 模擬現場にて講義を行っております。

(4) 人材育成

①センター主催研修会への見学参加（出前講座の実施含む）ですが、各医療、介護系の学校へ医療・介護関係者向けの動画研修の案内を配布しておりますが、動画研修の閲覧希望はありませんでした。教育機関への訪問の中で、学生の研修参加となると開催時間が夕方となる為難しいとのご意見がありました。動画研修であれば参加可能ではあるが、今年度から始めており認知度（活用方法など）が低かったのではないかと考えておりました。動画研修のアンケートから、時間のしびりがないため良かったとの意見があり、今まで参加が少なかった職種の参加もみられていました。閲覧人数をみると、今までで一番多い参加人数となっており、又公開期間後に研修で使用したいとの要望もきかれ、希望施設にはDVDを貸し出す等の対応をしておりました。人材育成に限らず、今後の研修方法の検討が必要ではないかと考えております。

報告事項1)「令和2年度 多職種連携研修計画 実施報告」のご報告は以上でございます。

寺田部会長

それでは、報告事項1)に関して、皆様からご発言を頂きたいと思っております。ご質問、ご意見等はございませんか。

齋藤メンバー

道南老協の齋藤です。医療関係者向け研修会動画公開なのですが、今回私どもの施設は、介護関係者だけ見たいなと思っていたのですが、申し込みの時に対象が医療関係者となっていたので、申し込みはしませんでした。動画公開の場合どちらでもいいような気がします。やはり医療関係者向けの情報も色々な事をこちらにも知るべきだと思うので、動画公開の場合は「医療関係者向けではあるけど、どちらでも申し込み可能です」と一言添えると申込しやす

いのかなと思いました。

寺田部会長

いかがでしょうか。

近藤幹事

そうですね。確かにそれはありかと思imasuので、今後検討させていただきます。ありがとうございます。

益井メンバー

函鍼連の益井です。恩村先生の研修ですが、対象が介護関係者となっていたのですが、私たちが実は見せてもらいました。非常に基本的な素晴らしい内容だったと思って、すごく役に立ちました。これは介護関係者に関わらず、医療関係者にもいいなと思いながら見ていました。人数的な問題とかいろいろ本当はあると思うのですが、是非、医療・介護の垣根を持たずに、いわゆる連携するには、それぞれ知る部分というのはあったりするので、是非見れるようにしていただければありがたいなと思っていました。

近藤幹事

ありがとうございます。

寺田部会長

どうぞ。

水越副部会長

もしそうであるならば、題目を見て判断していただければいいので、医療者向けですとか、介護向けですなどの言葉も必要ないですし、あえて、なにか注釈を加えないで、題名を見て判断していただければいいのかなという気はします。

寺田部会長

この件に対して他にご意見ございますか。皆さん、介護・医療問わず、見たいものは見たいと思いますので、今あったように、多くの方が閲覧出来るように検討をしていただければと思いますので、よろしくお願ひします。

近藤幹事

作った甲斐があります。

寺田部会長

あと他にございますか。よろしいですか。では次の議事に進めさせていただきます。

それでは、報告事項2)「センターホームページ『コラム』の掲載について」に関して、近藤幹事から説明お願ひします。

近藤幹事

資料1 報告事項の2)「センターホームページ『コラム』の掲載について」につきまして、ご報告いたします。

今年度の掲載は、令和元年度の大規模研修会でのシンポジウムに沿った内容で、「医師・施設相談員・在宅ヘルパー・病院看護師～それぞれの立場からの看取り～」と題して、座長の函館稜北病院の内科医長・訪問診療科科長 横倉 基先生、シンポジストの特別養護老人ホーム旭ヶ岡の家 生活相談員・介護支援専門員 南部 雄一様、ヘルパーステーション笑福ケア管理者・サービス提供責任者 山口 瑞穂様、市立函館病院 病棟副看護師長 沖崎 香代子様にコラムをご依頼し当センターホームページに掲載しております。今年度より、地域で相談できる専門職とのつながりを構築する為、「認定看護師の役割と活動」と題しまして、2か月毎に各認定看護師のコラムを掲載しております。7月は、感染管理認定看護師の日本感染管理ネットワーク北海道支部道南ブロック 函館市医師会病院 亀山 敏様、9月は、緩和ケア認定看護師 函館中央病院 総合医療支援センター・がん相談支援センター 計良 千香子様、11月は、乳がん看護認定看護師 北美原クリニック乳腺センター看護師長 村上 佳美様となっております。報告事項2)「センターホームページ『コラム』の掲載について」のご報告は以上でございます。

寺田部会長

それでは、報告事項2)に関して、皆様からご発言を頂きたいと思います。ご質問、ご意見等はございませんか。

寺田部会長

認定看護師の役割と活動に関して7月から始まったという事で、閲覧数はいかがですか。

佐藤幹事

まだ確認とれていなくて、現在ちょうどホームページ管理会社の方に閲覧件数の確認の連絡をしていた所でした。

寺田部会長

せっかくこういう閲覧あるので、多くの方が見てくれればいいなと思いました。他にございませんか。京谷さんよろしいですか。

京谷メンバー

認定看護師さんという存在について、わかっているようでわかっていなかったり、在宅で働いているスタッフなどもこういう事がわかっていると相談しやすいのかなと思いますし、このシリーズは楽しいと思うので、続けてほしいと思っています。

近藤幹事

載せていると、他の方から「認定看護師さんという方がいるんだ」と、まして今コロナが

あり、「感染管理の認定看護師がいるんだ」と、びっくりされる方もいるという話を聞きました。そういう方がいることについて、少し認知されてきたところがあるようです。

あと、コラムの最後の所なのですが、どなたがどの病院に所属しているか、まず今の段階では「この病院にいますよ」というのを載せていますので、そうすると地域で、「この病院にはこの認定の方がいらっしゃるんだな」というのを見れるように、私たちも把握できるようにと思って、載せさせていただいていますので、何かの折に、相談したい事などがたくさんあると思うので、活用出来ればいいのかなと思っています。

京谷メンバー

色々な雑誌の中でも隙間隙間でこの認定看護師さんですとか専門性のある職種の方のページがあると、「こういうのもあるんだ、知らなかった」といったように、すごく目にとまるページかなと思うので、今回センターのホームページの中でもこのシリーズはすごくいいかなと思うのと、これがまた様々な職種に広がっていくと尚興味をもってホームページを見る機会にもなるかなと思うので、出来れば、大変かもしれませんが、月1回くらい更新されていくと、もっとホームページを定期的にチェックする人も増えていって、多くの方の目に触れるのかなというような気がしました。以上です。

寺田部会長

貴重なご意見ありがとうございます。他にございませんか。よろしいですか。では、皆さんよろしければ、次の事項に進めさせて頂きたいと思います。

それでは、続きまして報告事項3)「研修情報一元化と提供について」に関して、幹事から説明願います。

近藤幹事

資料1, 報告事項3)「研修情報一元化と提供について」ご説明いたします。資料5・6をご覧ください。

資料5のホームページ上で掲載した研修情報一覧ですが、今年度4月から9月末の掲載分としては合計5件でした。今年度は新型コロナウイルスの影響により研修自体が開催されていなかった状況があり、件数は前年度より減少していると考えております。その中で徐々に新たな掲載のご依頼もあり、引き続き、掲載数の拡大に努めていきたいと思っております。

資料6, 研修情報一元化と提供に関する規定についてですが、《掲載条件》に関して、1つだけでも満たすと掲載できるのか等のご意見があり、すべての条件を満たす旨の一文を追加しております。

報告事項3)「研修情報一元化と提供について」のご報告は以上でございます。

寺田部会長

それでは、報告事項3)に関して、皆様からご発言を頂きたいと思います。ご質問、ご意見等はございませんか。

京谷メンバー

この資料5は9月までのものとなっておりますが、このあとに看護協会の、私の所属している保健師職能の集会について研修情報一覧に掲載していただきました。地域だとか、それぞれの立場だとか、所属機関等バラバラな人達が保健師職能に入っているのですが、このホームページに研修情報が載っていることを教えたら研修参加に繋がった方も数名いらっしゃったので、今回実際に掲載していただいて、便利だなと実感しました。これが活用されていけばアクセス数ももっと多くなったり、便利なものになるなということで、つい先月実感した所でした。以上です。

寺田部会長

一言どうぞ。

近藤幹事

新たなところで看護協会の保健師職能から集会の掲載依頼がありまして、活用して頂けてありがたいです。

寺田部会長

ありがとうございます。他にございませんか。報告事項は以上になりまして、続きまして協議事項に進めさせていただきます。

それでは、協議事項1)の「第6回函館市医療・介護連携多職種研修会について」に関して、幹事から説明願います。

近藤幹事

今年度は、新型コロナウイルスの感染状況や、道南医学会などの研修開催状況を踏まえ検討していた為、開催するかどうかの決定が遅くなりました。また、研修内容に関しましては、部会長副部会長へご相談し、全体内容と講師の検討をし、10月7日に案内文書を配信させて頂きました。部会メンバー様へのご報告が遅くなりました事を、ご了承のほどお願い致します。

資料2、協議事項1)「第6回 函館市医療・介護連携多職種研修会について」ご説明いたします。資料7をご覧ください。第6回 函館市医療・介護連携多職種研修会の素案になります。日時ですが、令和2年11月21日土曜日、14時から17時です。場所は、国際ホテルの2階天平となっております。定員は、当初は150名程度としていましたが、参加希望が多く、ソーシャルディスタンスを保ちながら、席の調整と人数調整を検討している所です。人数調整の際には、11月上旬までに各事業所等に連絡する予定となっております。参集方法としましては、当センターから各医療機関・介護事業所等の多職種に向けた案内配布を行い、所属する機関等からお申し込みいただく形としています。ただし、歯科医師会様・薬剤師会様・柔道整復師会様・鍼灸マッサージ師連絡協議会様の4団体に限りましては、職種や団体の特色を鑑みて各団体を通じてのお申し込みといたしました。研修終了後の懇親会につきましては、新型コロナウイルス感染拡大予防の為、開催中止としております。

次に、研修会の内容に入ります。資料9をご覧ください。新型コロナウイルス感染拡大予防の為、例年同様の講演・グループワークではなく、今年度は参加者同士の交差がないよう

に、映画上映と30分の講演にて開催する事といたしました。参加人数も例年より少ない事、そして新型コロナ対策の為参加を見合わせる方がいるのではないかと考え、後日、岡田先生のご講演のみ動画配信する予定としています。映画の内容が、訪問診療での様々な職種や家族・地域との繋がりとなっている為、相互理解を考える機会になると考えております。講師につきましては、映画内容に沿った講演内容とを考え、北美原クリニック 理事長 岡田晋吾先生に、これまでの訪問診療の経験を踏まえ、患者様とのふれ合いや在宅だからこそ得られた生活についてお話頂けるよう、ご依頼させて頂いております。又、この映画は、岡田先生が上映権を持っており、それを譲り受ける形で開催できる事になりました。講演会の座長ですが、当部会の副会長としてもご協力いただいております、函館薬剤師会 常務理事 在宅医療福祉部長 水越英通様にご依頼をさせて頂いております。全体のタイムテーブルは、資料8のと通りの時間配分となっております。

役割分担ですが、本日お配りした役割分担表・役割要領も合わせて、ご覧下さい。すでにこちらで、当日ご参加いただけるメンバーに役割分担をさせて頂いております。総合司会は部会長の寺田様、部会のメンバー様には、会場係・マイク係・写真係・撮影補佐係をお願いしたいと考えております。当日の会場準備、案内係は、センター職員と医師会病院職員で担当したいと思っております。

最後に新型コロナウイルスへの対策についてですが、資料10を案内文書とともに配布しております。参加者様には、案内で体温測定、体調確認、手指消毒をして頂き入場となります。座席に、本日お配りしております用紙を準備し、参加者様が名前・所属部署・連絡先・体調の確認事項を記入して頂き、映画上映前に回収する事となります。用紙は、後日必要に応じて、座席の特定ができるようにと考え作成しました。会場係は、上映前の用紙回収と遅れてきた方の用紙記入の声掛けと回収、空席の確認、席への案内をお願いいたします。筆記用具を忘れた方には、ボールペンの用意はしますが、アンケート等の記入もあるため、貸したペンの回収は研修会終了後にする事とします。マイク係は、スタンドマイクを使用する予定ですが、質問の都度、消毒をお願いいたします。

―長くなりましたが、協議事項1)「令和2年度 函館市医療・介護連携多職種研修会について」の説明は以上となります。第6回 函館市医療・介護連携多職種研修会の内容と役割分担等についてご協議いただければと思います。

寺田部会長

近藤幹事、説明をありがとうございます。それでは、協議事項1)「令和2年度 函館市医療・介護連携多職種研修会について」、研修会の内容、役割分担等、皆様からご発言を頂きたいと思っております。ご質問、ご意見はございませんか。

益井メンバー

函館連益井です。写真係担当という事ですけど、撮った写真のデータはどういう形でお渡ししたらよいでしょうか。

近藤幹事

一応こちらの方でデジカメをご用意して思っていたのですが、もしかして先生のご自分

のスマホの方がいいのかななんて思ったりしていました。準備する予定ではいきました。

益井メンバー

そうですか。準備していただけるカメラがあるのであれば、それで撮れば済む話なので。

近藤幹事

宜しくをお願いします。

益井メンバー

私でも扱えるでしょうか。

近藤幹事

大丈夫だと思います。

寺田部会長

他にございますか。京谷さんお願いします。

京谷メンバー

資料の私の見落としかもしれないのですが、研修の当日参加した方、研修終了後、体調不良がわかった方だとか、**「わかった場合はセンターまで一報ください」**だとか、そういったところについてはどうしましょう。看護協会とかの研修の場合、そういう報告のアナウンスが記載されていたりだとか、あと**「アプリへの登録に協力して下さい」**といったことだとかも、掲載する研修も包括でも少し増えてきているかなというところなのですが、そういったあたりのアナウンスはどういうふうにしたらいいかなどと思って資料を見せていただいていた。

佐藤幹事

1枚文書作ってやってらっしゃる感じでしょうか。

京谷メンバー

そうですね、はい。

佐藤幹事

検討してみたいと思います。確かに研修が終わった後に体調が悪くなって、2日前まで遡ったら研修に参加していたなんてこともあるかもしれないので、今のご意見参考にさせていただきながら、センターの方で少し協議してみたいと思います。ありがとうございます。

京谷メンバー

あともう1点なのですが、それもまた看護協会の研修、今回保健師の方の研修の時にはそういうふうになっているんですが、予め座席表に番号ふっておいて、どの方がどこに座ったか

を把握しながらだったのですが、ここについては今回対応するような形ですか。

近藤幹事

今お配りしている用紙の右上の方にナンバリングしておいて、人数分のナンバーを全部入れて、それをもうあらかじめ用意しておいて、そこに書いて回収させていただいて、そこにいたというのを確認しようかなとは思っていました。

京谷メンバー

ありがとうございます。

佐藤幹事

アナウンスの中で、席の移動をして頂かないようにということも、付け加えてお話させていただこうと思っていました。1度この紙を提出したら、ずっと、トイレ移動したとしても、この席に座っていただくように、お願いしようかなと思っております。

京谷メンバー

ありがとうございます。

寺田部会長

他に何かございますか。

水越副部会長

薬剤師会の水越です。ないとは思いますが、今回、コロナウイルスという特殊な条件があるので、寺田部会長と私が座長なのですが、万が一当日どちらかが熱出したりとか、普通の風邪でしたら熱出してもやっているのですが、今回は発熱したらその時点でダメだということになるので、一応万が一の事を心づもりで、事務局の方で対応を考えられておいた方がいいかもしれないです。もちろん、極力注意するようにはしますが。万が一少し調子が悪くて、熱があるという状態では絶対に会場に入れませんので、この辺も考えておいた方がいいと思います。

それともう1つ。あとに出てくるのかもしれないのですが、中止にする判断についても、どの程度までいったらもう中止にするのかということも、ある程度考えておかないとならないのかなと思います。例えば北美原クリニックの岡田先生のご意見もあるでしょうし、コンセンサスを取っておくなどしたほうがいいと思います。知事の方から警戒レベルを上げるように指示が出ている状態なので、少し怖いなということも正直あるので、考えておいて方がいいかなという気はします。

近藤幹事

毎日ニュースを見ながら、大丈夫だろうかと思っていました。警戒ステージの2に上がって、2週間後の11月10日にまたどうなるか発表がでるのを見ながらではあるのですが、難しい所ですね。一応色々調べた中だと、ステージ4だとイベントの見直しを考えると

ことになっているのですが、他のまた別の情報をみると、ステージ3でもやはり検討した方がいいというのもあったりもします。11月10日より前に発表がでるかわからないのですが、発表が出た状況を見ながら検討をした方がいいと思っておりました。また、この研修会の1週間前に道南医学会が予定されているので、医学会が開催されるのかも参考にしたいと考えているところであります。幸い函館市は、比較的要請者が少ないですが、医療関係者という立場で研修会を開催することがどうなのかと私たちも悩んでいる所ではあります。

水越副部長

皆さんのお考えはどうか、正直なところ。川口先生、いかがなものなのでしょう。最終的な判断下すのは、事務局ですか。

佐藤幹事

センター単独で判断というわけにはいかないかと思いますが、函館市であったり、医師会であったり、医師会病院であったり、本当に色々なところと協議をして、最終判断をとっております。

川口メンバー

道の基準プラス、あとはリンク（感染源）を追えない人の数がどうか、あとは指標としては10万人あたり1週間で2.5人、函館圏内だと、5人以上とかですかね。色々な指標があるのでどこを使うかというのはある。

佐藤幹事

ありがとうございます。

水越副部長

きちんと判断していただけるのであれば、いいと思うのですが、こちらの方で判断してくれという話になってくるのであれば、話が別なので、そこは心配だったのですが、きちんとやっていただけるのであれば大丈夫かなと思います。

寺田部長

ありがとうございます。他になにかご意見ございませんか。検討事項として、体調不良の問題、環境の問題、代役とかですね。中止の判断など様々検討事項色々はあると思うのですが、また後日検討して皆さんに報告出来るような感じを取ればと思います。

他に検討してほしい事などはございませんか。

京谷メンバー

1点だけ。介護従事者の方の状況だけお伝えすると、一応感染地域の方の往来は2週間から前日控えてくださいという記載があるので、そこで1つ安心だなとは思いますが、介護事業者さんなどは本州だとか感染地区から来た方と接触があった場合2週間面接を制限し

たり、緊急時を除いては制限したり、サービスが一時見合わせになったりという形をとっている事業所も多くあるかなと思うので、この研修会の方には、そういった介護従事者の方も出席すると思いますので、そういう状況を、1つ伝えておきたいと思います。

渡部メンバー

実際（函館市は）連鎖的に出てない地域ですよ、どちらかというと。北海道ひとくくりにしていますけれど。だから会としても研修は今控えているのですが、どう判断して研修開催したらいいのかというのは少々悩んでいるのはありますよね。国内有数の観光地でありながら、これだけ出ていないというのは奇跡だと思ったりもしています。

寺田部会長

ありがとうございます。

佐藤幹事

会場の状況でいいますと、1,000人入る規模の会場となっております。今は200人位申し込みが来ておまして、そこをどう制限かけていくかという所を検討している所ではあります。

寺田部会長

他にございますか。

川村メンバー

歯科医師会の川村です。200人希望出ているということですが、一応150名程度に最終的には絞るといえることでしょうか。

近藤幹事

そこも今少し悩んでいるところで、最初150名程度という所で、連休なども控えている、コロナの事もあるので、もしかしたら人数少ないのではないかと考えていたのですが、逆に申し込みの方が多くきてしましまして、今日までで180人位、プラスこのメンバーをいれて200人という所です。一応座席の方もみまして、ソーシャルディスタンス、1メートルちょっと取りたいので、それでぎりぎりいけるところでいくと、180人で何とかいけるか、それとももう少し減らそうかというところをこれからまた考えようかなとは思っていました。一応座席としては1メートル間隔を隣同士で空けるように席を考えてました。

川村メンバー

歯科医師会では、取りまとめ、歯科医師会で会員、衛生士の方との取りまとめして出席者を出しているんですけども、もし運営事情で減らしたいということでしたら、何人か減らして頂いて構わないので、安全のために、それは遠慮しないでやっていただいて。僕に権限はないのですが、納得してくれると思うので、そのようにやってください。

佐藤・近藤幹事

ありがとうございます。

寺田部会長

他にございますか。よろしいですか。皆様からの貴重なご意見，検討事項とかいただきましたので，少しでも安全に研修会進められるように，引き続き議論進めて参りたいと思いますので，よろしくお願ひ致します。それでは，次回の部会について，運営担当の幹事から説明願ひします。

近藤幹事

次回の部会は，随時，改めて日程等を各メンバーの方々にお伺ひして開催しようと考えておりますので，ご了承願ひします。

寺田部会長

全体を通して何かご意見・ご質問等はございませぬか。他になければ，全ての議事が終了しましたので，進行を事務局にお返しします。

栗田医療・介護連携担当

寺田部会長，どうもありがとうございます。それでは，以上をもちまして，函館市医療・介護連携推進協議会の多職種連携研修作業部会の第12回会議を終了いたします。皆様お疲れ様でした。